

### 地域を代表し、皆さまに感謝いたします



チャイルド・スポンサーの皆さま、新型コロナウイルス感染拡大の厳しい状況下にもかかわらず継続的なご支援をいただき、心より感謝いたします。ご支援により、地域の子どもたちの生活に変化がもたらされています。

ムサ・ムクマネ  
ゲゲ 地域開発プログラムマネージャー

### 750

地域の子どもたち750人が、他者への思いやりや他者の価値観の尊重を学ぶ啓発活動に参加しました。そこでは、自分や他者が価値ある者であることを理解し、健全な選択をし、前向きな人間関係を築くために何が大事かを学びました。

### 100%

地域の妊娠中の母親や乳児がいる母親の100%が、家庭訪問を含む産前産後相談サービスを受け、栄養や感染症・けがの防止など、健康に関する知識を得ました。地域の赤ちゃんの健康な成長につながっています。

エスワティニ：日本 出典：国連開発計画（UNDP）2020年

平均就学年数



6.9



12.8

1日1.90米ドル未満で暮らす人の割合



28.4%



0.7%

1,000人あたりの18歳未満の女性の出生数



76.7



3.8



「以前は、水汲みに片道30分かけて歩いて行っていました。今は、家の敷地内に水設備ができたので、お友達と遊ぶ時間が増えました。お母さんも学校の勉強を手伝ってくれるようになりました」

ムフォークレちゃん、10歳

75

栄養不良の子どもをもつ保護者75人が栄養改善プログラムに参加し、地域で入手可能な食材で出来る栄養のある食事の作り方などを学びました。地域の子どもの健康改善につながっています。

2,706

新たに2,706人の地域住民が家から30分以内のところで清潔な水を得られるようになりました。地域住民、特に女性や女の子が長時間の水汲みから解放されています。



支援終了予定日や活動の目標は、予期しない突発事項やプログラムの進捗状況により、変更される場合があります。

# 「私は、この子を奇跡の子と呼んでいます」



「陣痛が始まった時、家での出産に備えて、義母が地域保健スタッフのメアリーさんを家に呼んでくれました。」とノザンドさんは話します。  
(写真：娘のセツェルウェちゃんと一緒に)「しかしメアリーさんは、私の状態を見て、すぐに病院へ行った方が良いと強く勧めてくれました。赤ちゃんが生まれた時、赤ちゃんは脱腸を起こしてしまっていました。私もその時は絶望的になって泣くばかりでした」

チャイルド・スポンサーの皆さまのご支援のおかげで、地域の保健スタッフが、妊産婦の妊娠、出産をサポートできるようになりました。それにより、セツェルウェちゃんのような子どもたちの命が救われています。

「私はこの子を奇跡の子と呼んでいます」とノザンドさん。「この子が生きていてくれたのが、信じられません。もしメアリーさんがいなかったら、この子はここにはいなかったでしょう。地域保健スタッフに心から感謝しています」

# ご支援により、チャイルドと家族の生活に 大きな変化がもたらされています





## エスワティニ ゲゲ地域開発プログラム (SWZ-189622) 2021年度 (2020年10月1日～2021年9月30日)

### 会計報告

<b>プログラム支援額</b>	(単位:円)
チャイルド・スポンサーシップ当期支援額	46,292,508
前月からの繰越額	50,527
プログラム支援額合計	46,343,035

<b>プログラム支出額</b>	
水・衛生プロジェクト	12,634,960
保健・栄養プロジェクト	10,916,743
新型コロナウイルス感染防止支援プロジェクト	9,258,471
スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト	13,470,634
プログラム支出額合計	46,280,808
次期繰越額	62,227

### 活動内容

-  **水衛生プロジェクト**
  - 母子保健に関する知識向上のための啓発
  - 母子保健サービスに必要な物品の提供
  - 住民組織への衛生や栄養改善に関する研修
-  **保健・栄養プロジェクト**
  - トイレ、井戸、水道など衛生設備の設置支援
  - 保健や衛生習慣についての研修
  - トイレを使用することの重要性に関する啓発
-  **新型コロナウイルス感染防止支援プロジェクト**
  - 新型コロナ感染症予防に関する啓発活動
  - コミュニティ保健ボランティアへの研修
  - コミュニティにおける手洗い施設の整備
-  **スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト**
  - 手紙や成長報告を通じたチャイルドとの交流
  - チャイルドの定期的なモニタリング
  - 「子どもを中心とした開発」についての啓発活動

お問い合わせ先  
特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン  
TEL : 03-5334-5351

Eメール : [dservice@worldvision.or.jp](mailto:dservice@worldvision.or.jp)  
ホームページ : [www.worldvision.jp](http://www.worldvision.jp)

プログラム番号 : SWZ-189622